

A young child with dark hair in pigtails, wearing a white long-sleeved shirt and checkered shorts, is running across a green lawn. The child is seen from behind, reaching out with their right arm. In the background, a city skyline with various buildings is visible under a soft, hazy sky. The overall mood is peaceful and hopeful.

DINOS CORPORATION

サステナビリティ レポート 2020

SUSTAINABILITY REPORT 2020

 Everything
Has A Story

CONTENTS

サステナビリティ トップコミットメント	2
OUR VISION	3
サステナビリティビジョン2030	4
ーサステナビリティ上の重点領域別 2020年度取組み状況ー	
「健やかさ」を広げる	7
「多様性」を応援する	9
「自然環境」を持続可能にする	11

※本レポート(対象期間：2020年4月～2021年3月)は、DINOS CORPORATIONのサステナビリティに関わる活動をステークホルダーの皆さまに共有することでご意見等を取り入れ、さらに当社活動を発展させていくことを目的として発行しています。

サステナビリティ トップコミットメント

“よりのしい、未来のくらし”を、 お客様とともに創っていく。

昨年来、新型コロナウイルス感染症拡大により、お亡くなりになられた皆さまにお悔やみを申し上げるとともに、日々、最前線で感染防止に尽力されている方々に、心からの敬意を表し感謝申し上げます。

未だに終息しないパンデミックによって世界は一変し、先の見えない未来に対して、不安さを感じる世の中となりました。こうした最中で、今年当社は、株式会社 DINOS CORPORATIONとして新たなスタートを切り、そして「ディノス」創業50周年の節目を迎えます。

まさに私たちにとって本年は、改めて自分たちのアイデンティティを見つめ直し、次なる50年に向けて真に変化すべきタイミングであると考え、この先の未来を照らし、“よりのしいくらし”のある持続可能な社会をお客様とともに実現していくため、当社コミットメントとして、このたび「サステナビリティビジョン2030」を策定いたしました。

SDGs 同様に2030年を目指す当該ビジョンにおいては、当社が考える、これからの社会・創りたい未来のために、「健やかさ」「多様性」「自然環境」の3つをサステナビリティ上の重点領域とし、様々な「パートナーシップ」を通じた、それぞれの取組みを進めてまいります。

社会課題の中でも、とりわけ健康への関心はさらなる高まりを見せていますが、人生100年時代となった今、お客様が体も心も健やかで、毎日が彩りのある豊かなくらしが過ごせるよう、商品・サービスでの貢献を目指してまいります。

また、自分らしく誇りをもって暮らせる世の中の実現に向けて、お客様お一人おひとりのライフスタイルを整える様々なお手伝いをするとともに、継続的な社会貢献活動も行なってまいります。

喫緊の課題である自然環境については、環境に配慮した商品・サービスのさらなる拡充・ご提供はもちろんのこと、カタログ通販事業者として責任ある紙の使用、そして、地球温暖化防止に向けた温室効果ガスの排出量削減に努めていきます。

社内におきましては、健康経営の推進や多様性を重視した組織作りにも邁進いたします。

引き続きお客様と社会の様々なストーリーに寄り添いながら、私たちらしい持続可能な企業の姿、持続可能な新しい通販の姿を模索し、「サステナブルなモノがたりで、未来のくらし、もっとたのしく。」の実現を目指します。



2021年4月
株式会社 DINOS CORPORATION
代表取締役社長

石川 順一

OUR VISION

当社アイデンティティのもとになっているのは、お客様、商品・サービスなど全ての「モノがたり」です。

VISION

モノがたりで、くらし、たのしく。

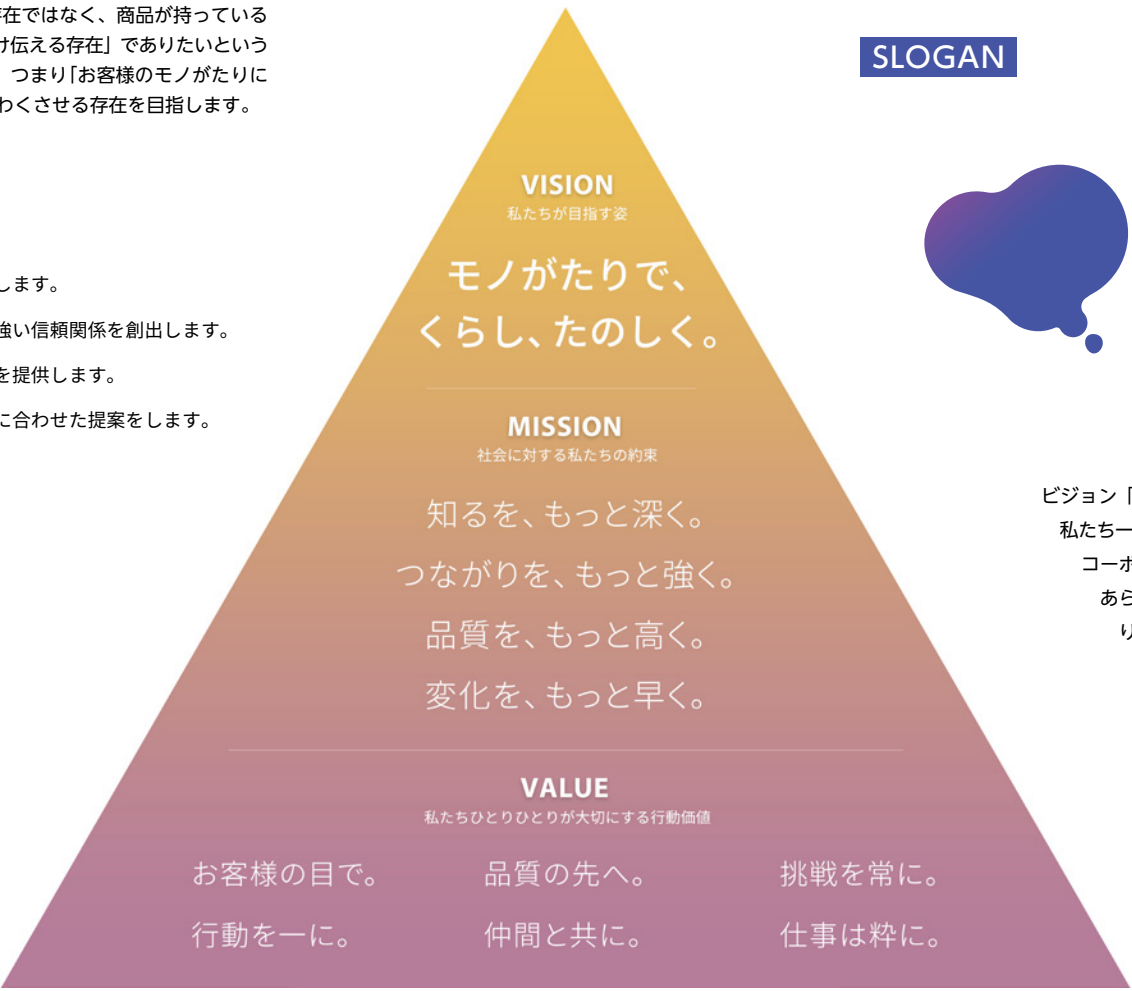
「モノがたり」には2つの意味があります。私たちは単に商品・サービスをご提供する存在ではなく、商品が持っているストーリー、例えばその背景や生産者や私たちの想いといった、「モノがたりも一緒に届け伝える存在」でありたいということ。そしてもう一つは、お客様のそれぞれの多様な人生や生活にまつわるストーリー、つまり「お客様のモノがたりに関わる存在」でありたいということ。私たちは、「モノがたり」で、お客様の生活をわくわくさせる存在を目指します。

MISSION

- 知るを、もっと深く。** お客様の声を収集・分析し、新たな価値を創出します。
- つながりを、もっと強く。** お客様との接点に驚き・発見・感動を提供し、強い信頼関係を創出します。
- 品質を、もっと高く。** 期待を超える品質と付加価値で、お客様に喜びを提供します。
- 変化を、もっと早く。** スピードと柔軟性をもって、常に時代のニーズに合わせた提案をします。

VALUE

- お客様の目で。** 自分の視点だけではなく、お客様の視点になって考えよう。
- 品質の先へ。** 素材や機能だけではなく、真の満足を提供するために本質を追求しよう。
- 挑戦を常に。** 常識という枠に留まらず、常に挑戦する意識を持とう。
- 行動を一に。** 迷ったらまずはじめに行動を。走りながら考え、スピードを大切にしよう。
- 仲間と共に。** 一人ではできないことも、仲間と協力し合い、より大きな価値を生み出そう。
- 仕事は粋に。** 自ら考え、自ら立ち回り、主体的に楽しく、スマートに働こう。



SLOGAN



ビジョン「モノがたりで、くらし、たのしく。」の実現を目指し、私たち一人ひとりが高い意識を持続けるために策定したのが、コーポレートスローガン「Everything Has A Story」です。あらゆることに「モノがたり」を見出し、新たな「モノがたり」へとつなげていく、私たちの決意を宣言しています。

サステナビリティビジョン2030

サステナブルなモノがたりで、 未来のくらし、 もっとたのしく。

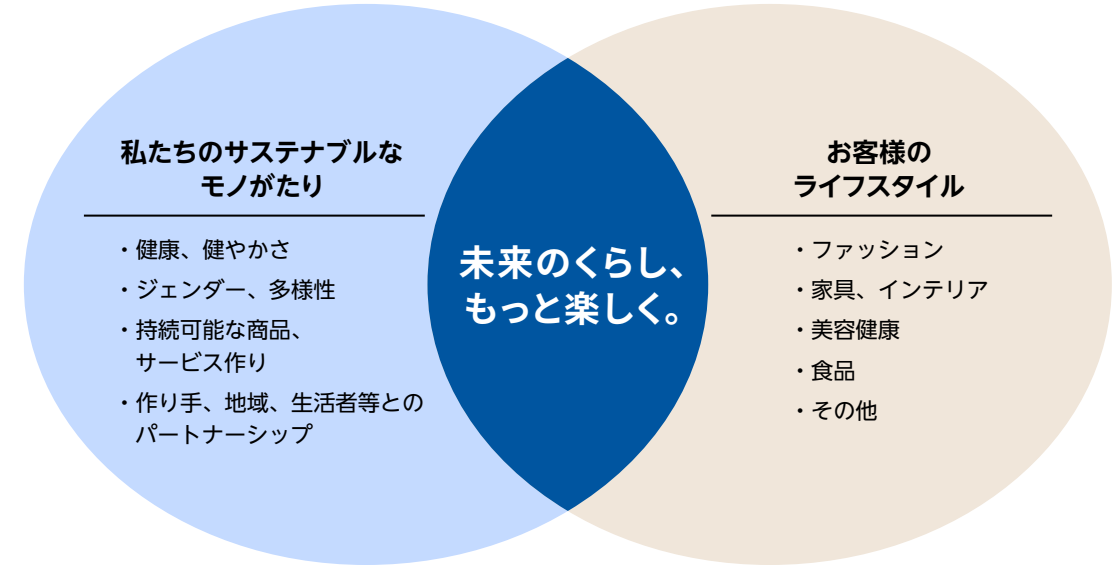
DINOS CORPORATIONは、お客様とともに“よりたのしいくらし”を創造・共有していくため、様々な社会・環境課題に取り組み、持続可能な未来の実現に貢献しながら、企業としての成長を目指します。

2021年、私たちはDINOS CORPORATIONとして新たなスタートを迎え、「ディノス」創業50周年を迎えました。
誰もが不安を抱えるこの世の中で、見えない未来を明るく照らし、“よりたのしいくらし”のために、サステナブルな社会の実現に向けたビジョンを策定し、お客様とともにかたちにしていきたいと考えています。



サステナビリティビジョンの取組み方

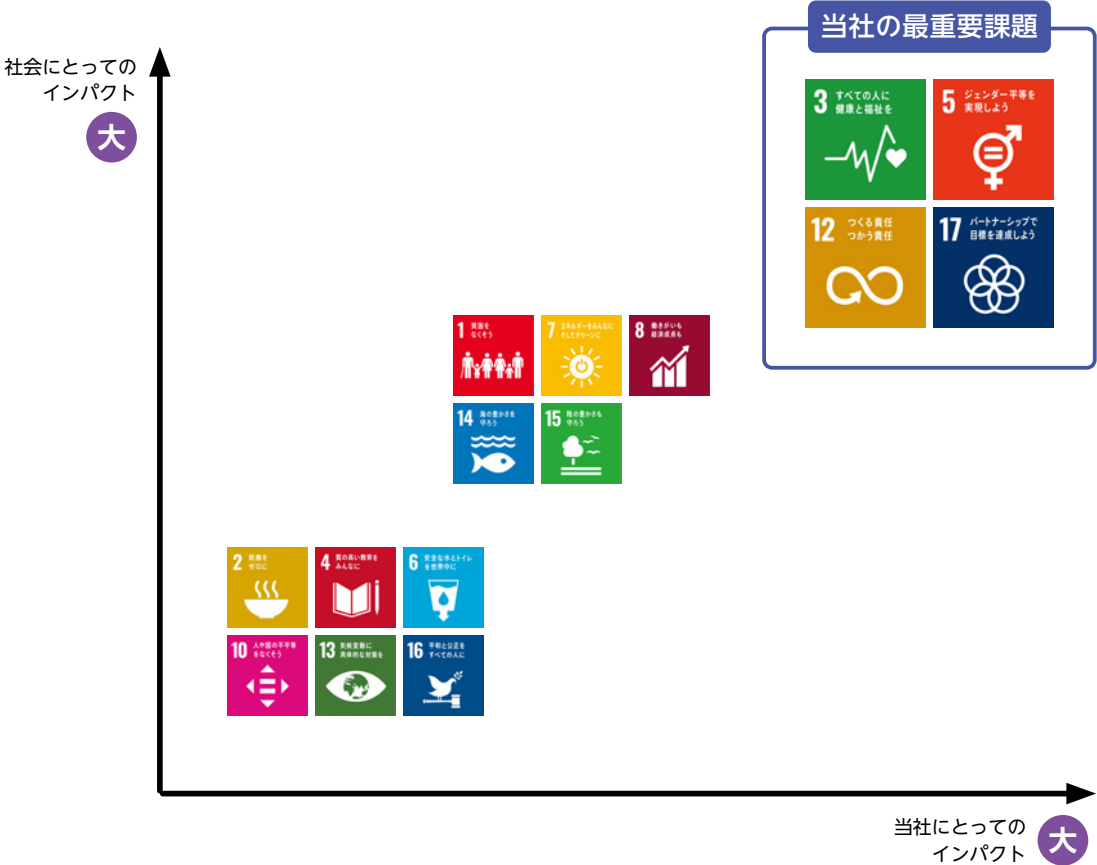
- 一企業ビジョン「モノがたりで、くらし、たのしく。」や、それに基づくサステナビリティ方針を前提とし、当社が考える“これからの社会・創りたい未来”の姿について、SDGsと同様に2030年に向けて「サステナビリティビジョン2030」として掲げ、全社でその実現を目指します。
- 一当該ビジョンでは、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を重点領域と位置付け、それぞれについて具体的な目標計画(定量・定性)を設定します。各目標に関連する当社ガイドラインの概要は、公的な制度やガイドライン等をもとに、2021年度中に策定します。
- 一取組みを進めるにあたり、公的ガイドラインや社会的視点を促す第三者との連携や、そこからの評価を得ることを検討していきます。
- 一社会・環境に与える影響をよりよい方向へとつなぐ、商品・サービス、事業活動を通して、お客様とともに“よりたのしいくらし”を生み出していきます。



当社のマテリアリティ（最重要課題）

社内ヒアリングに基づいて洗い出した、SDGs (Sustainable Development Goals) の17ゴール・169ターゲットに関わるような当社事業活動について、社会にとってのインパクトと当社にとってのインパクトで評価し、それら影響の大きさについて2軸で表した、マテリアリティマップ上に15のSDGsゴールを分類しました。

そのうち、「3(すべての人に健康と福祉を)」「5(ジェンダー平等を実現しよう)」「12(つくる責任つかう責任)」「17(パートナーシップで目標を達成しよう)」の4つを当社にとっての最重要課題としています。



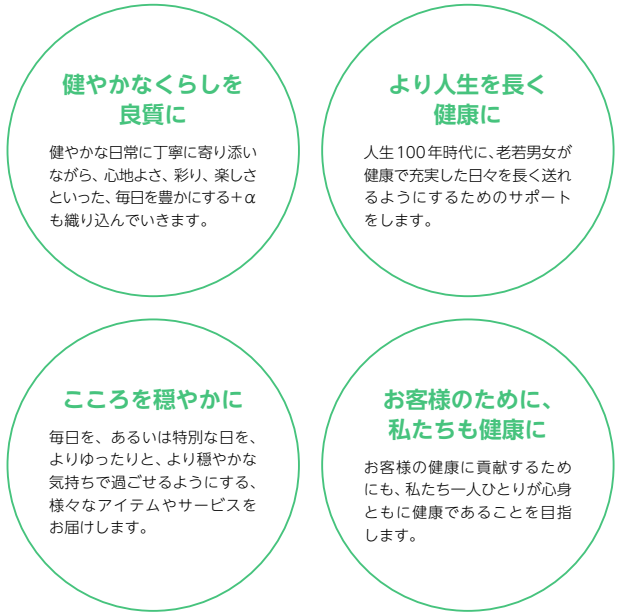
サステナビリティ上の3つの重点領域

マテリアリティのうち4つの最重要課題をもとに、「健やかさ」「多様性」「自然環境」を、当社がサステナビリティ上で取り組むべき重点領域と設定しました。
この3領域を中心に、社会や環境をより良い方向へとつなぐ、当社の商品・サービスや事業活動など、サステナブルな“モノがたり”を通して、お客様とともに未来に向けて“よりのたのしい暮らし”を生み出していきます。

「健やかさ」を広げる

日々の暮らしにおける身体と心の健やかさが、自然と広がっていくきっかけを作り続けます。

取り組みテーマ



2030年に向けた当社のコミットメント

- 「健やかさ」を広げるため、当社らしい企画商品を、2030年までに20点開発します。
- 商品・サービスで、2030年までに1,000万人の健やかで心地よい暮らしを応援します。
- 健康要因を様々な指標に基づいて多角的に捉え、従業員が心身ともに健やかで、それぞれの能力が十分に発揮できる状態を実現します。

「多様性」を応援する

多様な価値観や立場などを踏まえ、女性をはじめ様々な方々のより良い暮らしを後押しします。

取り組みテーマ



2030年に向けた当社のコミットメント

- 商品・サービスで、2030年までに1,000万人の多様で生きがいのある暮らしを応援します。
- 多様性の応援につながる様々な情報を、積極的に発信します。
- 継続的に様々な社会貢献活動を推進します。
- 全従業員がダイバーシティ&インクルージョンを理解し、お互いを尊重し合い、一人ひとりが活躍できる職場を実現します。
- 業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率を、2030年までに50%以上にします。

「自然環境」を持続可能にする

たのしく豊かな暮らしのために、すべての事業活動において、自然環境保全につながる取組みを推進します。

取り組みテーマ



2030年に向けた当社のコミットメント

- 新商品において自然環境に配慮した商品採用比率が、毎年前年度を超え、2030年には50%にします。
- 「サーキュラーエコノミー」の実現につながるような、既存事業の見直しや新たな事業を検討します。
- お客様一人あたりの紙媒体における紙使用効率を、2030年には50%向上させます。
- できる限り環境に配慮した用紙・印刷方法の採用を推進します。
- 温室効果ガス削減のため、CO2排出量(SCOPE1・2及び3の一部)を2030年までに15%削減します。

「健やかさ」を広げる

“ニューノーマル”で見直す、健康を意識した新たな生活様式の提案

コロナウイルス感染拡大で、「健やかさ」に重きを置いた新たな生活様式へとシフトを始めた 2020 年度。当社では、お客様の“ニューノーマル”な暮らしに向けて、テレワークに対応したリビングアイテムをはじめ、各種感染対策グッズ、さらにはバランスの取れた食生活のための食品など、様々な商品をご提案しました。また、社内においては、働く環境の整備やメンタルサポートなど、従業員の心身の健康に関する取組みを進めました。

在宅勤務や感染防止など、 新たな暮らしをサポート

多様な働き方が推進される中、急速にテレワークの定着が進んだことを背景に、「ディノス」では、自宅で快適に働くための環境づくりをサポートする各種家具をご提供しています。例えば、家族との共有エリアであるリビングの一角を、ワークスペースへと生まれ変わらせるデスクは、サイズ感、仕切りの付け方、充実の収納力などの特長によって、ストレスフリーに仕事ができると、お客様からも大変ご好評をいただいています。

また、マスクやセンサー付きタッチレス水栓、ソープディスペンサーなど、今や必需品となった感染対策アイテムも多彩に揃えており、「ウィルス・菌対策&健康管理」としてオンラインショップ上に特集ページを開設しました。



リビングの一角が自分だけの個室になるテレワークデスク



ウィルスや菌対策のためのアイテムを集めたweb 特集ページを開設

「健やかさ」を広げる

品質と安全、イミニの素材へのこだわり

オリジナルコスメ「イミニ」は、コロナ禍でも注目される「LPS」を主要成分としており、ブランドとして成分の品質面や安全性の追求に注力しています。独自素材であるパントエア菌LPSは、土壌と水が清浄な、滋賀県・琵琶湖近くに位置する吉田農園で栽培された無農薬玄米の米ヌカから作られています。また、このイミニ特別仕様のLPS原料が、エコサートグリーンライフ社より、世界基準のオーガニックコスメ認証である「COSMOS認証(原料登録)」を取得しました。

その他の使用素材の一部についても、沖縄県・宮古島にある指定農場から原材料調達を開始するなど、イミニではコスメから健康食品まで、お客様に愛され、信頼されるための商品開発を行っています。



イミニリペアセラム

従業員が、健やかに働ける環境づくりを推進

当社では、テレワークを推進する一方、従業員同士のリアルなコミュニケーションも重視しているため、飛沫防止や消毒、フィジカルディスタンス等の要素を職場環境に取り入れ、徹底した社内の感染症対策を行っています。

また、専属の保健師の採用により、カウンセリングによる心身両面でのサポートも強化するなど、従業員の健康増進を、様々な観点から積極的に取り組みました。

このような点が評価され、経済産業省及び日本健康会議が実施する「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として健康経営を実践する企業を顕彰する制度による、「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に選定されました。



保健師との面談専用カウンセリングルーム



各ミーティングルームには、アクリル板と除菌スプレーを設置

「低糖質」「減塩」をキーワードとした、手軽でおいしい食品

ステイホーム期間が続き、自宅での食事や、料理をする機会が大幅に増えたことで、より一層、生活習慣病の予防・改善のために、健康に気遣った食生活への関心が高まっています。こうした中「ディノス」では、家事の負担を減らすだけでなく、低糖質や減塩などをキーワードとした、手軽でおいしい様々な食品をご提案しています。

管理栄養士によってカロリー・塩分・糖質などの栄養バランスに配慮して企画され、国内で手作りされたお惣菜や、トレーニングジム『RIZAP』監修で、同社独自の食事メソッドを手軽に取り入れられる、低糖質ながらバラエティに富んだ惣菜セットは、お客様からもご納得いただける人気シリーズとなりました。



「RIZAP」の低糖質おかず14食セット

おやつにもお勤め。
具たくさんのお糖質ビスケット

「多様性」を 応援する

多様性を尊重した、ストレスフリーな生活に貢献する商品の提供

コロナ禍における感染対策の観点から、家で過ごす時間が増えたこの1年。おうち時間の増加に比例して生じる家事負担や運動不足など、従来にはなかった戸惑いからくるストレスを少しでも解消して、心豊かに過ごせるよう、“時産”を叶える、キッチン用品や収納アイテム、手軽な健康器具など幅広いジャンルで多様な方々のくらしを応援する商品を展開しました。また、当社では、全従業員を対象にしたテレワークの実施等、多様な働き方も推進しています。

家事の負担を軽減し、 “時産”につながるアイデア商品を展開

家族と家で過ごす時間の増加により、料理や洗濯、掃除など、毎日の家事負担が増えた今、その労力を効率的に軽減することでストレスフリーな家事を叶える、機能的な各種アイテムを提案しました。

中でも料理時間の短縮が図れる調理器具や、楽な姿勢で洗濯ものを干すことができるハウスキープ商品など、一つで二役以上の機能があたり、効率的な行動導線が考えられていたりなど、時短に貢献する商品はご好評をいただいています。

「ディノス」では、効率的に家事をこなせる時短アイテムを通じて、“時産”にもつながる、快適なくらしを応援します。



パスタを折らずに入れられる楕円構造。
時短のためのフライパン「じたぼん」



竿にバスケットを吊らせて立ち姿勢のまま、楽に洗濯物を取り出せるランドリーバスケット

「多様性」を 応援する

加齢に伴う健康や日常生活上の課題を 解消する商品を提案

外出制限の影響で外に出かける機会が極端に減り、運動不足による体力の衰えや健康への影響が課題になる中、健康維持・体力維持を目的として、「ディノス」では、シニア世代を含む幅広い年代層向けに「自宅で簡単にできる」をテーマにした自発型運動器具などをラインナップしました。

また、シニアの方が日常生活を送る上で抱える課題や悩みをサポートするため、使いやすさや機能性、デザイン性にこだわって開発された手すり器具や杖などの生活用品を多数取り揃え、快適に過ごしながら楽しく年を重ねられることに貢献できる、様々な商品や情報をご提供しています。



座ったままウォーキング運動ができる
「エアロライフ モーションナビ」



椅子から立ち上がるときなどを
サポートする手すり



フリーアドレスで自由で快適なオフィス環境に



多拠点をつないだミーティング風景

従業員が持続的に能力を発揮できる 職場環境づくり

当社では、ダイバーシティ&インクルージョン(多様性の受容)をビジネス戦略の一つと位置づけ、従業員の多様性を尊重し、様々な価値観を受け入れることを組織の強みとし、持続的な企業価値の向上を目指しています。

この1年は、全従業員を対象としたテレワークの実施に加え、意図的に多様性を生みだしていく施設戦略としてABW(Activity Based Working)をオフィスに導入し、モバイルワークを推進するほか、オフィス環境のフリーアドレス化を進めています。

今後も、サテライトオフィスやワーケーションの導入を検討し、従業員一人ひとりが活躍できる仕組みや環境作り、働き方の多様性を追求していきます。

女性支援、子ども支援など、 継続的に社会貢献活動を実施

当社では、発行するカタログや限定販売商品において、売上の一部を寄付するなど、貧困に苦しむ女性や子どもなどをはじめ、東日本大震災の復興支援についても、継続的な社会貢献活動を実施しています。

また、20年度は新型コロナウイルス感染拡大や、7月に発生した豪雨災害への緊急支援活動に賛同し、寄付を行いました。



「公益社団法人 日本動物病院協会(JAHA)」
商品売上金額の一部をアニマルセラピー活動に寄付
(写真 石垣星児氏)



「公益社団法人 ハタチ基金」
被災地の子どもたちの心のケアや学び・自立の機会を提供する活動に寄付



©日本対がん協会
売り上げの一部をピンクリボン運動支援のために寄付

〈寄付先一覧〉

寄付先	2020年度寄付額	寄付内容
公益社団法人 ハタチ基金	767,380円	被災地の子どもたちの心のケアや学び・自立の機会を提供する「ハタチ基金」への寄付
認定NPO法人 国連UNHCR協会	956,320円	難民女性における生理用品支援のために寄付
公益財団法人 日本対がん協会	1,234,575円	乳がんをなくす「ほほえみ基金」への寄付
認定NPO法人 国連WFP協会	1,785,840円	子どもたちの給食1人1日分相当を寄付
公益社団法人 日本動物病院協会	5,810円	アニマルセラピーと呼ばれるボランティア活動を支援
日本財団 子どもサポートプロジェクト	273,690円	同プロジェクトの「子ども第三の居場所」への寄付
日本赤十字社	1,468,161円	「フジネットワーク サザエさん募金 令和2年7月豪雨 被災地救援」を通じて日本赤十字社へ寄付
セーブ・ザ・チルドレン	100,000円	「新型コロナウイルス緊急支援」への寄付

「自然環境」を 持続可能にする

明るくハッピーな未来に向けて、環境にも人にもやさしい生活を

世界中が自然環境問題に対して警鐘を鳴らす最中、2020年10月には日本においても「2050年二酸化炭素排出ゼロ」宣言が発表されました。当社でも「環境にも人にもやさしい暮らし」をテーマに、家具やファッションなどの商品はもとよりパッケージなどの資材に、自然環境に配慮した素材の採用を積極的に進めています。また、生物多様性保全の取組みとして、森林の循環に繋がる家具の開発や、森林保護団体への寄付を継続的に行っています。

自然環境に配慮した素材、 染色方法を採用

環境保全を進める上で、資源の持続可能な利用は必要不可欠なこととして、日々新たな環境配慮素材やそのための取組みが登場しています。

「ディノス」でも、自然由来素材や再生素材の採用をはじめ、染色方法にもこだわるなど、様々なアイデアや工夫を取り入れた商品を提案しています。例えば、マヨネーズ工場から廃棄物として出る卵の殻をリサイクルして作った、吸水性・速乾性の高いバスマットや、植物系の再生繊維キュプラを織り込んだ生地のチュニック、さらに、花、葉、茎といった自然素材から染料を抽出したプルオーバーなど、暮らしを彩る多様なアイテムをご紹介します。さらに、梱包資材についても、一部環境配慮素材の使用を行っています。



マヨネーズ工場から出る卵の殻を
リサイクルしたバスマット



再生繊維（セルロース）を使用した
チュニックブラウス



自然素材から染料を抽出して
作ったプルオーバー



焼却時に有毒ガスが発生しない素材の
商品パッケージ

「自然環境」を 持続可能にする



生物多様性の保全への貢献、 森林を守る取組み

様々な動植物の生態系や種、遺伝子等、生物多様性の保全は、自然環境における大きな課題となっています。長年、家具を取り扱ってきた「ディノス」では、日本の森林保護への貢献に努めており、「サステナブルなものづくり」をテーマに、国産材を積極的に使用しています。森林循環が滞り自然災害の一因にもなることが問題となる中、ニーズの減少により、伐採されず長年山に残されたままの、大分県・日田の大径木を用いた、書棚などの収納家具などを開発しました。

また、対象商品の売上の一部が、地球規模での環境問題の解決に取り組む、国際環境NGO「FoE Japan」に対する寄付につながるなど、お客様とともに森を守る取組みも継続しています。

カタログ通販事業者としての 責任ある紙の使用

環境への配慮から、当社では「責任ある紙の使用」をテーマに、カタログやDMの発行を行っています。紙媒体からオンラインショッピングへの売り場のシフトを図りつつ、カタログに使用する用紙の斤量減少にも努めています。また、FSC 認証紙などの環境配慮用紙についても積極的に採用していく予定です。

さらに、物流倉庫内にオンデマンドプリンタを設置。これにより、商品に同梱するチラシについては少数の印刷や短納期での対応ができ、無駄な印刷を少なくすることももちろん、印刷物の輸送にかかる温室効果ガスの削減にも貢献しています。今後はお客様一人ひとりに向けた、パーソナライズドカタログの発行なども検討していきます。



オンデマンドプリンタでDMなど、印刷の無駄を少なく



日田杉大径木を使って
開発した収納家具



商品の売上の一部を「FoE Japan」に寄付
(左)美容カタログ「D-beauty+ (ディービューティープラス)」
(上)ファッションカタログ「So close, (ソークローズ)」



商品に最適な多種類の段ボール(ディノス)



商品サイズに適した段ボールに
変更(イミニ)

商品梱包サイズの適正化とダウンサイジングで 省資源化を推進

当社では、気候変動緩和に向けた取組みとして、お届けする商品の梱包の省資源化を推進しています。「ディノス」では、生活用品をはじめとしたインテリア雑貨やファッション、化粧品など形や大きさの異なる様々なジャンルの商品に対し、環境負荷を軽減する観点から、過剰な梱包を避け、最適な梱包サイズとするため、商品配送用のダンボール箱は約30種類と多数取り揃えました。また、「イミニ」でも商品の外箱サイズをもとに、複数アイテムがぴったりと収まる、コンパクトな配送用ダンボールを採用しています。

さらに、輸送エネルギーの効率化を図るため、ハンガー付きのアパレル商品を畳んだ状態でのお届けに変更するなど、商品出荷時における梱包のダウンサイジング化にも取り組んでいます。

DINOS CORPORATION



サステナビリティレポート 2020

株式会社DINOS CORPORATION

<https://dinos-corp.co.jp/>

2021年7月発行

